

島根原子力発電所2号炉 審査資料	
資料番号	EP-061改84(回1)
提出年月日	令和3年3月17日

令和3年3月
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（技術的能力 添付資料1.0.12：東京電力福島第一原子力発電所の事故教訓を踏まえた対応について）

No.	年月日	コメント内容	回答状況	回答内容
1	令和3年3月11日	真空破壊弁のガスケットについて、「仮にガスケットが外れた場合～」と記載があるが、完全に外れた想定か否かを示して説明すること。	本日回答	第1表課題No.3「真空破壊弁の機能不全によるスクラビング・バイパス説」に対する現状について、当初、ガスケットが溝から完全に外れた場合を想定し記載していたが、「弁体とフランジの間にガスケットの噛み込みが発生した場合」について追記した。 (EP-061改84 1.0.12-14ページ参照)
2	令和3年3月11日	シールドプラグの構造を図（ポンチ絵）も示して説明すること。	本日回答	シールドプラグの構造に関する説明として、補足資料(6)「シールドプラグの構造について」を追加した。 (EP-061改84 1.0.12-34ページ参照)
3	令和3年3月11日	SRVの逃がし安全弁機能の制御機構等に何らかの未解明の要素があることについて、今後も動向注視する旨を説明すること。	本日回答	第1表課題No.9「主蒸気逃がし安全弁（SRV）の不安定動作」に対する現状欄へ「中間開閉状態が解除されずに継続したメカニズムに関する未解明の要素については、今後の調査・分析の動向を注視する」旨を追記した。 (EP-061改84 1.0.12-17ページ参照)
4	令和3年3月11日	3号機及び4号機における水素爆発に伴う破損状況（爆轟と爆燃）についても、今後も動向注視する旨を説明すること。	本日回答	第1表課題欄へ「No.8 3号機及び4号機における爆燃現象」を追加し、現状欄へ「今後の調査・分析の動向を注視する」旨を記載した。 (EP-061改84 1.0.12-16ページ参照)
5	令和3年3月11日	第15表にて試験圧力に0.3MPa～0.9MPaを設定した理由について説明すること。	本日回答	0.9MPaについては、BWR電力各社のPCV圧力条件を勘案して設定した試験圧力である。 なお、0.3MPa及び0.65MPaについては、他社設定の試験圧力であり、ABWRのPCV圧力条件をベースに設定されたものと考えられる。